

科目名 哲学 時間割表記名 哲学	配当時期 2 年次 前期 単位数 1 単位 時間数 30 時間(15 回)	講義担当者 金戸 清高	
事前学習内容 テキストは事前に読んでおき要旨を 200 字程度にまとめておいてください。			
授業目標 1. 看護の対象である人間についての理解を深め、看護に必要な哲学の考え方、物事や事象の捉え方を理解する。 2. 物事を論理的に考えるための基礎知識を学ぶ。			
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。 DP3. 一人ひとりの個性(多様な価値観)や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。 DP5. 自己を理解し、他者を尊重したうえで、人間関係を構築することができる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	序: 哲学とは何か これからの学習法についての説明等	講義	テキスト①
2	テキスト 1~3 存在の意味—わたしはどこから来て、どこに向かうのか—	テキストの発表および講義	テキスト①
3	テキスト 4, 5 人間と「物語」1 —人は物語を必要としている—	テキストの発表および講義	テキスト①
4	テキスト 6, 7 人間と「物語」2 —悲劇の受容—	テキストの発表および講義	テキスト①
5	テキスト 8~10 三浦綾子の思想—「道ありき」を中心に—	テキストの発表および講義	テキスト①
6	テキスト 11, 12 資本主義の終焉	テキストの発表および講義	テキスト①
7	テキスト 13, 14 現代思想—二者択一の選択の前に—	テキストの発表および講義	テキスト①
8	テキスト 15, 16 エビデンスは常に必要か	テキストの発表および講義	テキスト①
9	テキスト 17, 18 「子どもの権利条約」を考える	テキストの発表および講義	テキスト①
10	テキスト 19, 20 宗教の世界観 1—ユダヤ今日、キリスト教、イスラム教—	テキストの発表および講義	テキスト①
11	テキスト 21, 22 宗教の世界観—日本人の死生観と他宗教—	テキストの発表および講義	テキスト①
12	テキスト 23, 24 日本人の自然観—西洋との比較におい	テキストの発表および講義	テキスト①

	てー	び講義	
13	テキスト 25, 26 日本語の特色と日本人の対話法	テキストの発表および講義	テキスト①
14	テキスト 27, 28 日本人と「愛」	テキストの発表および講義	テキスト①
15	試験・まとめ テキスト 29, 30 夏目漱石「心」から学ぶ	講義、試験	テキスト①
<p>受講上の注意</p> <p>事後学習としてその時間に学んだことを 300 字前後にまとめておこう。</p>			<p>評価方法</p> <p>レポート</p>
<p>使用するテキスト</p> <p>① 池田晶子「14 歳からの哲学」他適宜プリントやスライドを配布する。</p> <p>参考文献</p> <p>都度紹介する。</p>			